



# 令和2年度 十勝川中流部 湿地環境造成箇所

## 7月調査結果概要報告

# 調査方法

## 魚類調査

- 魚類の採捕（夕毛網）
- 種類の同定
- 個体数の計数
- 体長の計測
- 重量の計測

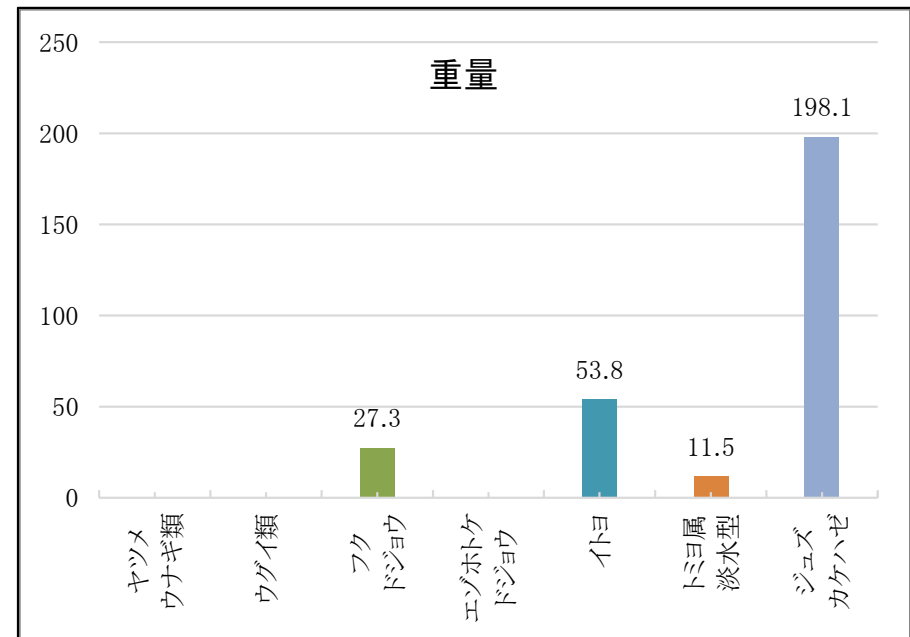
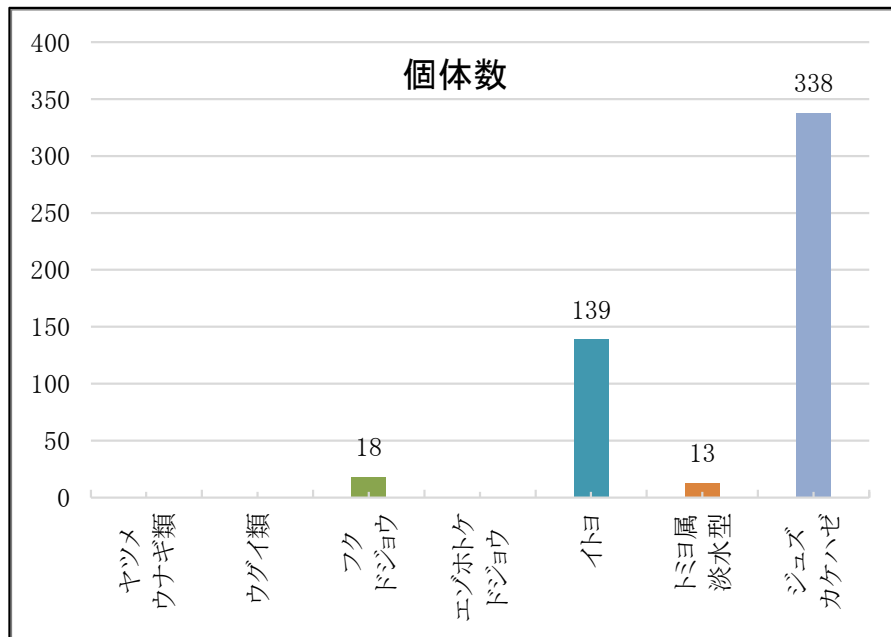
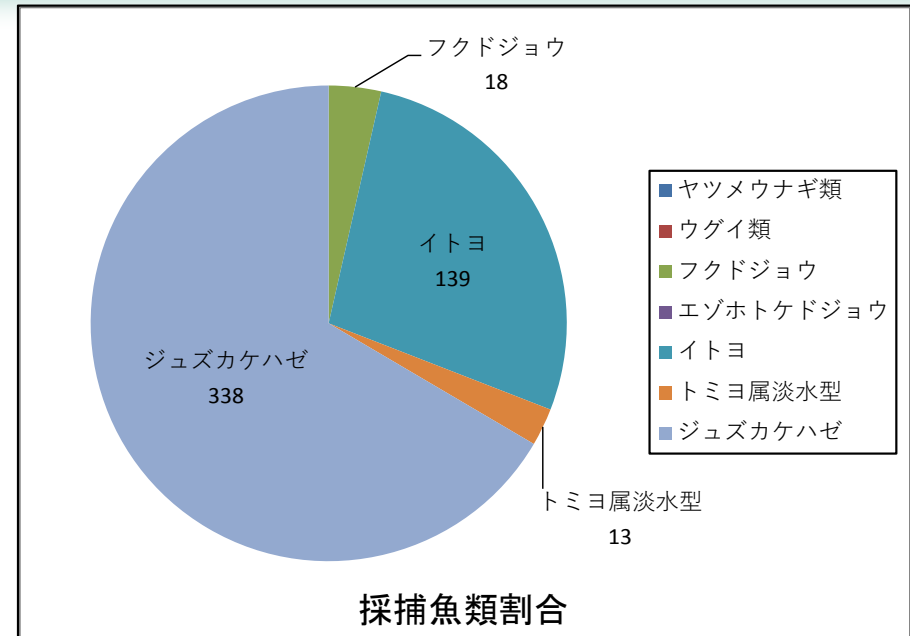
## 物理環境調査

- 水深計測
- 水温、気温計測
- 河床材料



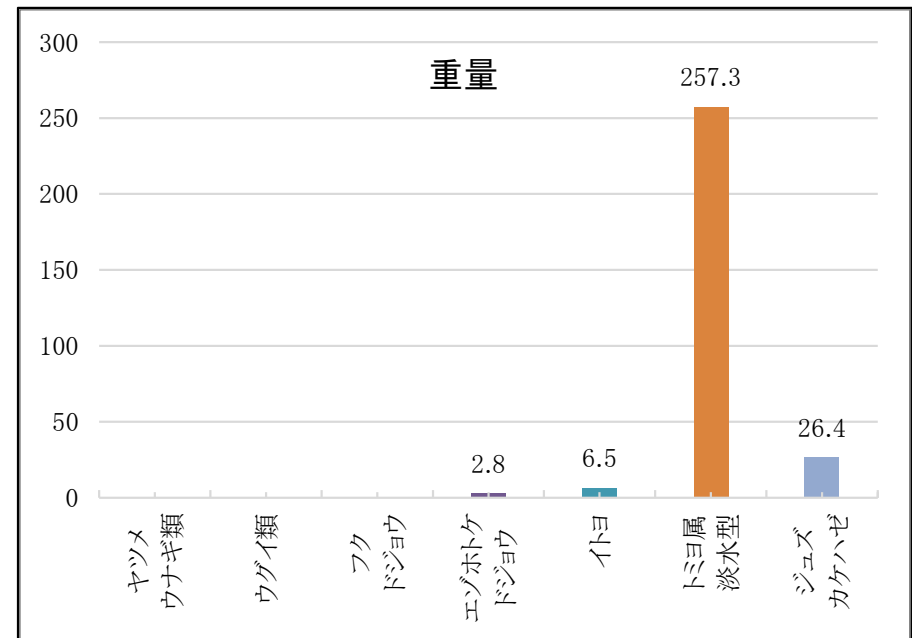
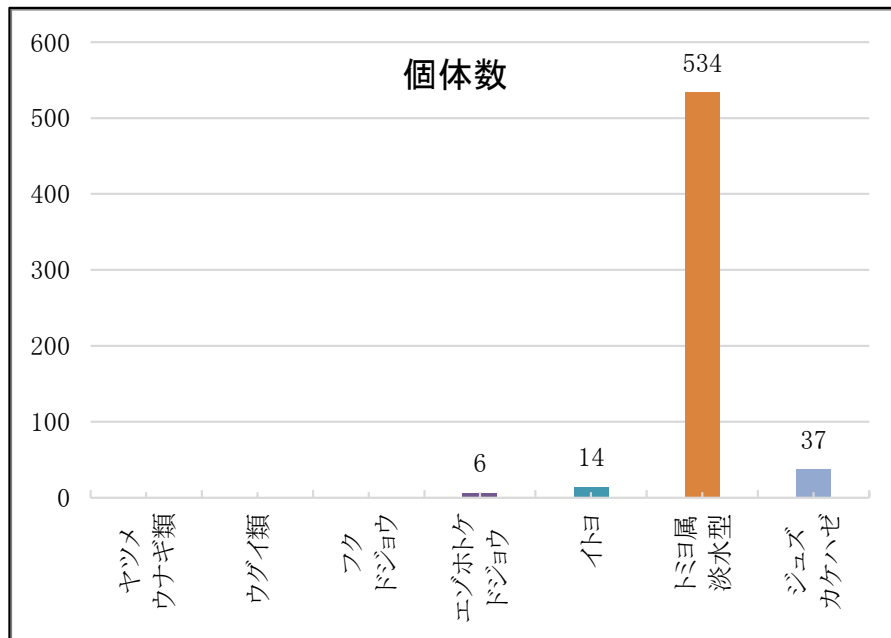
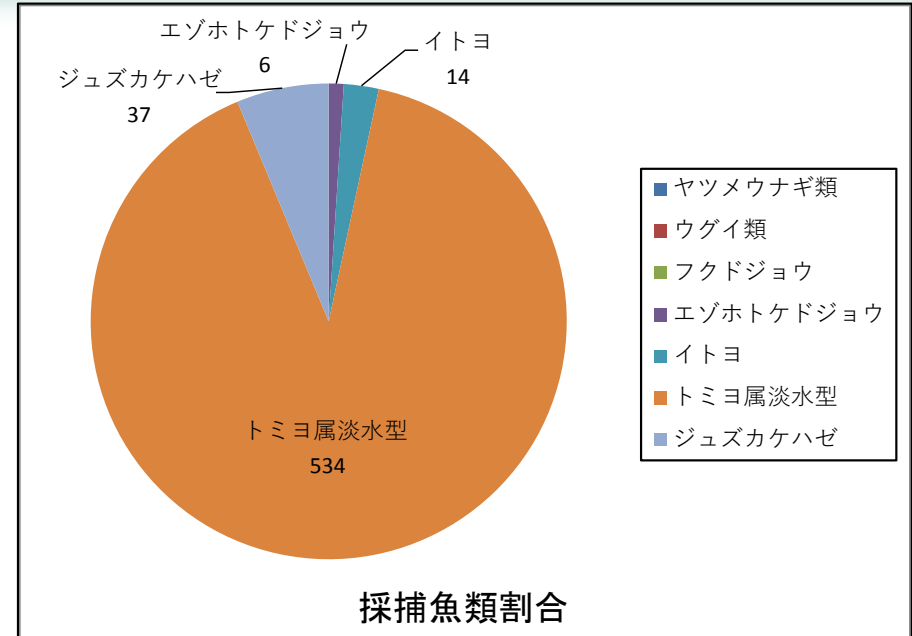
# 調査結果 ①中央部調査結果 4種508個体確認

区分	種名	中央部	
		個体数	重量 (g)
魚類	ヤツメウナギ類	0	0
	ウグイ類	0	0
	フクドジョウ	18	27.3
	エゾホトケドジョウ	0	0
	イトヨ	139	53.8
	トミヨ属淡水型	13	11.5
	ジュズカケハゼ	338	198.1
	計	508	290.7
調査面積 (m <sup>2</sup> )		50	



# 調査結果 ②右岸岸際部調査結果 4種591個体確認

区分	種名	右岸岸際部	
		個体数	重量(g)
魚類	ヤツメウナギ類	0	0
	ウグイ類	0	0
	フクドジョウ	0	0
	エゾホトケドジョウ	6	2.8
	イトヨ	14	6.5
	トミヨ属淡水型	534	257.3
	ジュズカケハゼ	37	26.4
	計	591	293
調査面積(m <sup>2</sup> )		50	



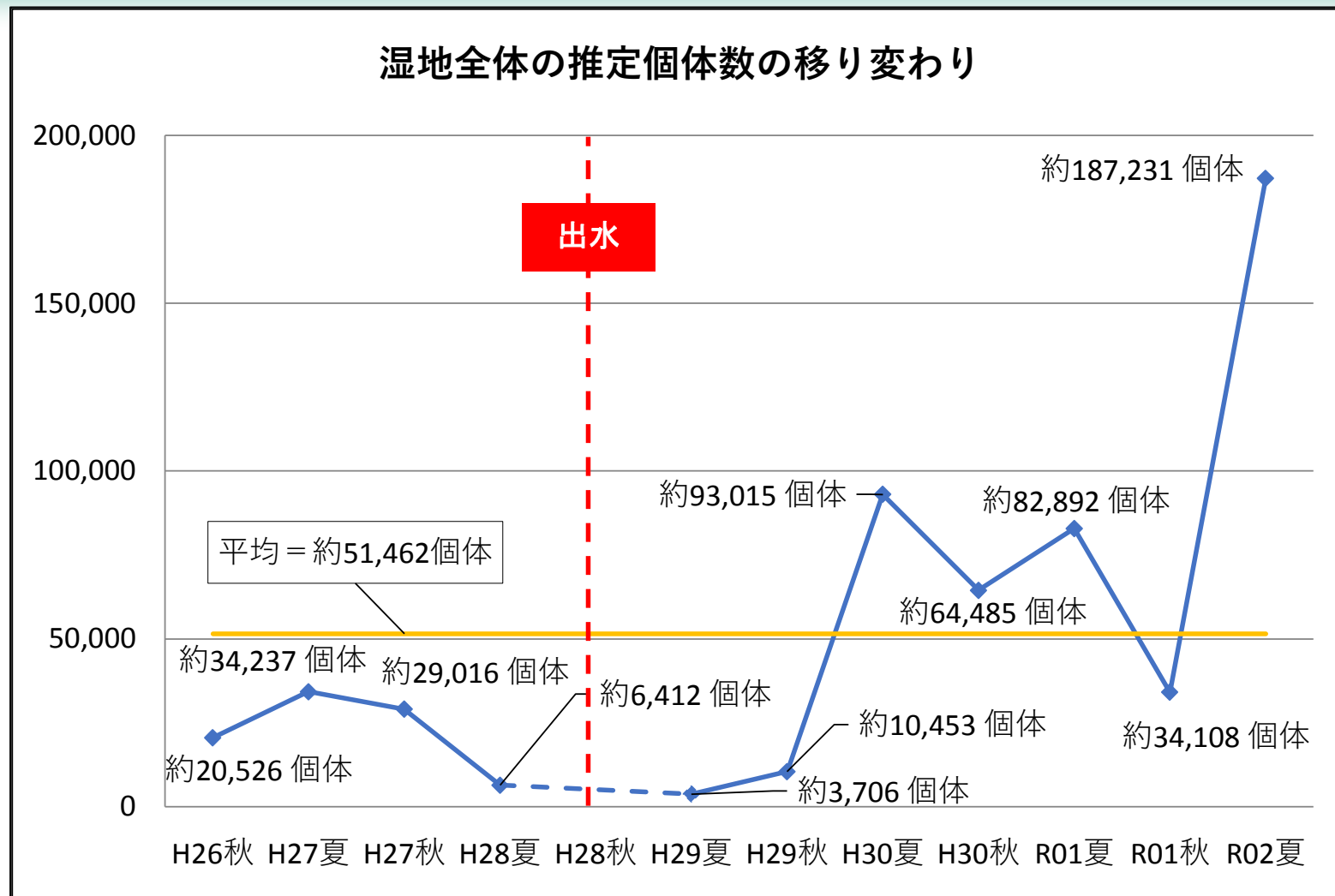
# まとめ 魚類の全量推定：全体の生息個体数

→ 魚類調査と計算の結果、**約187,231個体** となった

※ 昨年度の夏期調査では 約82,892個体、秋期調査では 約34,108個体 だった

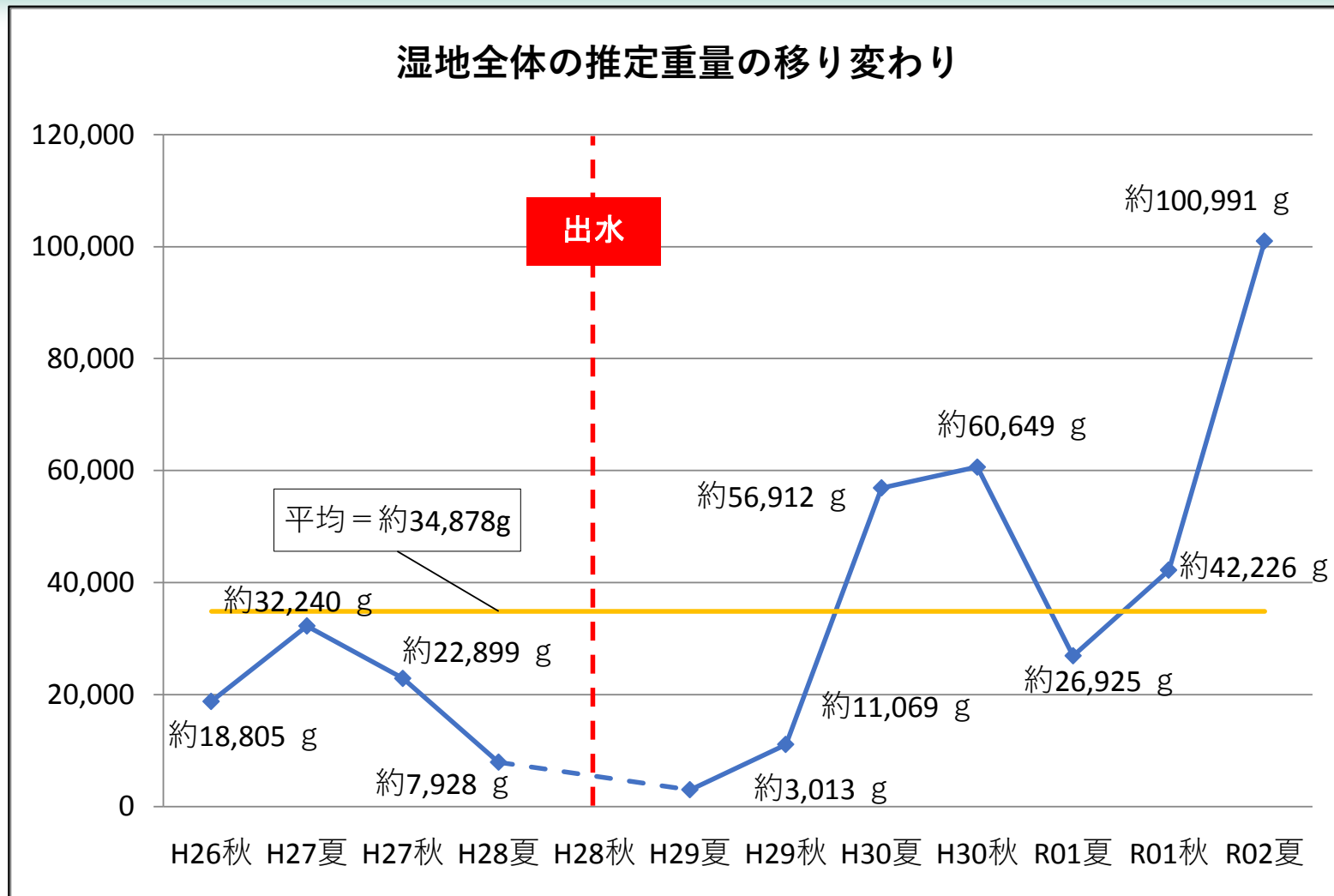
区分	種名	中央部	岸際部	池全体の生息個体数 (全量推定値)
		10512.126m <sup>2</sup>	6804.393m <sup>2</sup>	
魚類	ヤツメウナギ類	0.000	0.000	約 個体
	ウグイ類	0.000	0.000	約 個体
	フクドジョウ	3,784.365	0.000	約 3,784 個体
	エゾホトケドジョウ	0.000	816.527	約 817 個体
	イトヨ	29,223.710	1,905.230	約 31,129 個体
	トミヨ属淡水型	2,733.153	72,670.917	約 75,404 個体
	ジュズカケハゼ	71,061.972	5,035.251	約 76,097 個体
合計個体数		約 106,803 個体	約 80,428 個体	<b>約 187,231 個体</b>

# まとめ 生息推定個体数の移り変わり



夏期調査の結果は、昨年の夏期調査と比べ約104,339個体増加し、秋期調査と比べて約153,123個体増加した。また、全調査域での平均推定個体数は約51,462個体なので、平均個体数よりも約135,769個体多い結果となった。

# まとめ 生息推定重量の移り変わり



夏期調査の結果は、昨年の夏期調査と比べ約74,066 g 増加し、秋期調査と比べて約58,765 g 増加した。また、全調査域での平均推定個体数は約34,878 g なので、平均個体数よりも約66,113 g 多い結果となった。